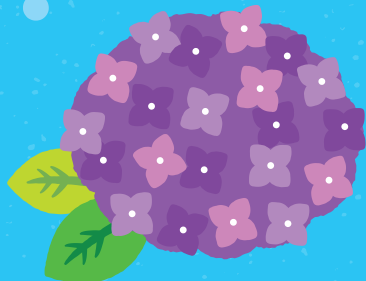
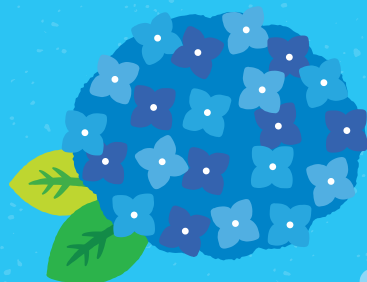
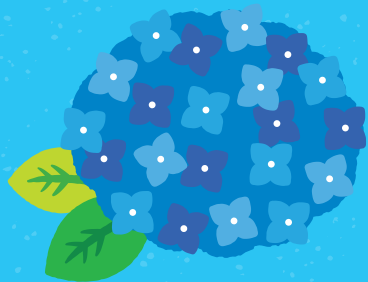


ロクマル

市議会だよりさいたま | No.94 2023.4.30

ロクマル = 60 60人の議員は市民の代表。さいたま市議会の動きをコンパクトに伝えます。



追跡！あの提言どうなった？

新年度の予算編成に向けた市議会からの提言が、市の予算案にどのように生かされたのか追跡します。



あの提言 追跡! どうなった?

昨年の9月定例会において、決算特別委員会から次年度の予算編成に向けた提言書が提出されました。今回は、この提言が市の予算案にどう生かされたかを追跡します。

- 1 要支援者等の不便さを共感できる区役所窓口従事者研修
- 2 人材育成とデータ活用によるDXの推進
- 3 市職員の時間外勤務の是正と対策
- 4 世界情勢と市内経済動向を踏まえた効果的な経済対策
- 5 教職員の負担軽減等のための措置
- 6 ゼロカーボンシティ実現に向けた全庁での積極的な取組
- 7 福祉窓口の相談体制の充実
- 8 積極的な用地取得と市民要望に即した都市公園の整備
- 9 医療従事者の働き方改革の推進と計画的な人材確保
- 10 水道料金の減額制度の導入に向けた前向きな検討
- 11 外郭団体・出資法人の民営化に向けた取組

令和5年度予算編成に向けた
審査の過程で指摘した改善点や
要望などを市長に提出しました。

提言



9月定例会

- ・ 決算議案を審議
- ・ 決算議案を議決
- ・ 提言

事業の予算が適正かつ効果的に使われたか、期待した成果が得られたかを **決算特別委員会** で審査。本会議で決算を議決（認定・不認定）します。

4月～翌年3月
事業の実施
(予算執行)

市(執行部)は、それぞれの事業計画などに基づき、各施策やイベントなどを実施します。



10月～翌年2月
予算案の作成

市議会からの提言を踏まえ、市(執行部)は次年度の事業を計画し、予算案を作成します。



2月定例会

- ・ 予算議案を審議
- ・ 予算議案を議決

予算議案に対し、**予算委員会** で様々な観点から審査。本会議で予算を議決します。

議決された予算に基づき、次年度の事業が行われます。この一連のサイクルを繰り返すことで、その先へ... 市政運営のさらなる向上が図られていきます。



提言に基づいて新年度予算案はこうなった!

令和5年度予算案から、今後の市の取組の一部をご紹介します。
※予算額は事業全体のものであり、関連事業の費用を含む場合があります。

提言1 への対応 **区役所窓口サービス向上のため職員への体験研修の充実を図ります**

- ・ 高齢者や妊婦などの疑似体験を取り入れた、体験型の要支援者・要配慮者対応研修を全区役所で実施

予算額 ・職員研修事業(一部) (232万円)

提言2 への対応 **人材育成とデータ活用を積極的に行いDXの推進を図ります**

- ・ デジタル技術を活用した効率的な情報システムの構築とICTを活用できる人材の育成
- ・ 業務で蓄積されたデータを共有・分析し施策検証や企画立案などに活用する「さいたまシティスタット」の推進

予算額 ・情報システム最適化事業 (1億1,302万円)
・統計事務事業 (2,234万円)

提言6 への対応 **ゼロカーボンシティ実現に向けて全庁をあげて取り組みます**

- ・ エネルギーの地産地消の推進、脱炭素先行地域における再生可能エネルギーの導入拡大
- ・ 運輸部門での温室効果ガス排出削減のため、次世代自動車の普及を促進

予算額 ・地球温暖化対策事業 (9億8,967万円)

提言8 への対応 **公園整備重点地区での用地確保と魅力ある公園の整備を進めます**

- ・ 生産緑地や公有・民有地情報の積極的な収集による公園用地の確保
- ・ 地域特性や市民ニーズを踏まえた公園施設の新設・改修

予算額 ・都市公園等整備事業 (34億4,738万円)

議案第17号 令和5年度さいたま市一般会計予算 ほか16議案

過去最大規模の令和5年度予算が成立

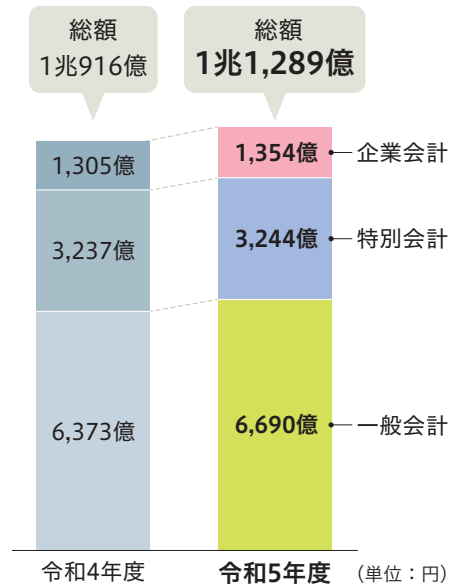
市長から「ポストコロナを見据え、さいたま市の新時代へのシンカに取り組む予算」として提出された令和5年度予算議案は、電気・ガス料金の高騰による光熱水費の増加や、普通建設事業費、扶助費の増加などにより、一般会計・全会計予算総額ともに過去最大規模となりました。

議案は予算委員会に付託され、8日間にわたり審査が行われました。総合政策、文教、市民生活、保健福祉、まちづくりなど分野別に審査を行った後、最終日には市長出席のもと総括的な質疑が行われました。予算委員会での審査結果は本会議に送られ、採決の結果、一般会計予算などすべての当初予算議案が可決され、新年度予算が成立しました。

<令和5年度予算案「4本の柱」>

- 感染症や自然災害に備えた強靱な都市づくり
- ポストコロナを見据えたさいたま市の魅力づくり
- 誰一人取り残さない持続可能でインクルーシブな地域づくり
- 公民学共創と質の高い市役所づくり

さいたま市の令和5年度当初予算の規模



※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります。

議案第1号 令和4年度さいたま市一般会計補正予算(第11号) ほか15議案

令和4年度補正予算議案を可決

次世代型スポーツ施設の整備や、個性豊かで潤いのある都市空間の形成、脱炭素社会に向けた地球温暖化対策の推進、子ども・子育てを支える都市の実現などに要する費用について、市長から令和4年度補正予算議案が提出され、可決されました。

<主な事業>

- 次世代型スポーツ施設を与野中央公園に整備するためのアドバイザー選定や地質調査
- Park-PFI(公募設置管理制度)による与野公園の整備に向けた実施設計など
- 市民・事業者・行政の連携による再生可能エネルギーの導入拡大
- 保育人材確保のための保育士修学資金などの貸付事業への補助金
- 避難所となる小・中学校の24校のトイレ改修工事

2月定例会で審議された議案 ▶ 市長提出議案98件、委員会提出議案1件/合計99件



議員のQ&A 市のA

2月定例会「代表質問」ダイジェスト

すべての質問の様子は、右の二次元コードから、インターネット議会中継（録画配信）でご覧になれます。



代表質問

6党派12人の議員が、市政に対する代表質問を行いました。質問の一部をご紹介します。

質問者

神崎 功／添野ふみ子／鶴崎敏康
高子 景／井原 隆／上三信彰
松下壮一／都築龍太／玉井哲夫
竹腰 連／金子昭代／小柳嘉文

民主改革

新年度の予算編成に込めた市長の思いは

Q 令和5年度予算について、財政調整基金の取り崩しや初の赤字市債の発行など厳しい財政状況の中、過去最大規模の積極予算に舵を切った市長の決意を伺う。

A 令和5年度当初予算案は、本市の新時代に向けて特に重視した取組を4本の柱にまとめ、重点配分した。多くの先人たちの努力により築かれた歴史や伝統、磨かれた文化、発達した都市機能、水と緑豊かな自然環境など、本市が有する貴重な財産を次の時代に伝え、子どもたちが希望を持って歩んでいけるよう、新たなチャレンジに取り組み、本市の未来を全力で切り拓いていくべきとの思いで編成したものである。

熱心に進めてきた区役所改革
今後の区政に目指すものは

Q

これまで区役所改革を積極的に進めてきたことで、窓口への満足度は高い水準にある。区制20周年を迎えるのを機に、市が目指す今後の区政・区役所の在り方を伺う。

A

区制施行20周年を機会に、区役所のさらなるサービス向上への取組として、デジタル技術の活用や行政手続きのオンライン化など、より迅速で利便性の高い行政サービスの提供と業務効率化を進めていく。また、来庁者の負担軽減や相談者に寄り添った支援にも努めていきたい。職員一人ひとりがサービス向上に取り組み、新たな時代に対応した区役

市政の最前線基地である区役所
今後も住民目線のサービス提供が期待される

所を目指していきたい。

放課後児童クラブへの支援
拡充し保護者負担の軽減を

Q

放課後児童クラブは、適正規模化や待機児童解消のため新增設や移設が急務である。多くは保護者の運営であり、開設に携わる保護者への一層の支援が必要ではないか。

A

民設放課後児童クラブの新規開設や移転に伴う施設整備への支援については、開設に必要な家賃や備品購入費、改修工事費の補助のほか、市内不動産業者からの物件情報を、児童クラブの運営事業者へ提供している。令和5年度は、新規開設する物件の改修工事に対する補助金の上限額を、130万円から240万円へ引き上げるなど、新規開設などに係る物件確保の支援を拡充する。

Q

現庁舎地の利活用
歴史的遺産の継承を

本庁舎移転後の現庁舎地の利活用については、

市民に愛されている水の広場や「トルーカの鐘」などの歴史的遺産を残しつつ、次世代への求心力あるものにすべきでは。

A 水の広場や姉妹都市トルーカ市から贈呈された鐘、「埼玉サッカー発祥の地の記念碑」や記念樹など、現庁舎地における歴史的遺産を残していくことは、重要と認識している。今後、しっかりと調査したうえで、浦和駅周辺まちづくりビジョンに掲げるまちの将来像「洗練された伝統と感性豊かな文化が息づく、風格で魅了する都心・浦和」の実現に向け、検討を進めていきたい。

Q 学校では*包括的性教育と*生命の安全教育をどう関連させ教えているのか。また、保健所と連携を強化し、小4や中3の学習に思春期における保健教育を組み込んで。

A 包括的性教育については、学校においても発達段階に応じて指導している。

生命の安全教育については、学校での性に関する指導と重なる内容が多く、様々な場面で繰り返し指導しており、今後も推進していきたい。思春期保健教室については、関係部署との連携を強化するとともに、生命の安全教育と関連させる学習を組み込み、児童生徒の実態などに応じて活用していきたい。

さいたま自民党

Q 民生委員制度を改革しなり手不足の解消を

民生委員選出の困難さを軽減するためには、年齢要件や活動費の見直しが必要では。個人の「善意に頼る」だけでなく、抜本的な制度改革をすべきと考えるが、見解は。

A 民生委員の年齢要件については、実際に活動する委員の意見や、先進自治体の事例などを調査研究し、慎重に検討する必要があると考える。活動費については、委員の活動実態などを把握し、適正な額と

なるよう随時見直しを図ってきたい。委員のなり手を確保するため、推薦にかかわる皆様の意見や改選における課題などを勘案し、地域全体で候補者を探せるよう、引き続き最善の方法を検討していきたい。

Q 住民が待ち望む計画道路整備に向けた現状は

市の東部を南北に結ぶ大間木丸ヶ崎線は、*核都市広域幹線道路と交差する本市唯一の都市計画道路であり、その価値が高まっているが、現在の検討状況を伺う。

A 当路線は現在の本市道路網計画における廃止候補路線であるが、同計画の改定案では必要性が確認され、計画再検討路線と位置付けている。整備については、地元自治会と旧大宮市との協定書に基づき、関係部局で連携を図りながら、令和5年度から概略の検討を開始する。様々な調査の中で、有効な整備区間や車線数など路線の特性を見極めながら、検討していきたい。

Q 大宮駅東口広場の再整備用地取得で早期の実現を

東口駅前広場は、自動車が行き交うため、歩行者を妨げなければ走行できず、道路交通法上の違法行為を助長する極めて危険な状態にある。改善のため、昨年の火災現場跡地を用地取得すべきと考えるが、見解は。

A 現在の駅前広場は安全な歩行空間が確保されていない箇所もあり、最優先で整備に取り組むべきと考えている。昨年の火災現場は、駅前広場の計画区域内に位置するものの、都市計画決定している区域には該当しておらず、利用を制限で



大勢の人が行き交う大宮駅東口駅前広場
利用者の安全のため早急な再整備が望まれる

* 生命の安全教育
子どもたちを性犯罪、性暴力の当事者にならないために、生命の尊さや素晴らしさ、自分や相手、一人ひとりを尊重することなどを、発達段階に応じて指導する教育。

* 包括的性教育
性の知識やスキルだけでなく、人間関係や価値観、人権、性暴力の防止など、学校内外で行われる幅広いテーマを含む教育。国連の国際セクシュアリティ教育ガイダンスに示されている。

きない土地となっている。また、当該地区は東口駅前の中でも特に高い収益を得られる土地であり、先行取得には権利者の意向が大変重要であるため、丁寧な話し合いを進めている。

**鴻沼川沿いの調整区域
市街化区域へ編入を**

Q 新中央区役所の建設や与野中央公園の整備が予定され、利便性の高い地域に残存する鴻沼川沿いの市街化調整区域。市街化区域への編入に向けた今後のスケジュールは。

A 市街化に向けては、令和5年度に^{*}溢水、湛水^{*}区域を確認するシミュレーションなどを行い、令和6年度にその恐れがない区域へ意向調査や都市基盤整備状況の確認を行っていく。令和7・8年度に地権者との合意形成を想定し、令和9年度に都市計画の素案作成や関係機関との協議などを進めていく。令和12年に予定する都市計画区域マスタープランおよび市街化調整区域の定期見直し時期を目指し、取り組んでいきたい。

**誰もが認める「宇宙のまち」
実現のための取組を**

Q 「宇宙のまち・さいたま市」が対外的に認知されるためには、市として宇宙ビジネスを推進し、宇宙関連企業の誘致や創業支援に力を入れるべきと考えるが、見解は。

A 本市では、宇宙ビジネス産業を発展可能性の高い次世代産業の一つと位置付け、これまでも市産業創造財団を中心に、市内理工系大学との産学連携を含めた支援を行ってきた。また、複数の市内事業者がすでに宇宙ビジネスに参入している。リーディングエッジ企業認証支援制度などを活用し、企業のニーズに応じたオーダーメイド型の支援を積極的に行うとともに、宇宙ビジネス産業の誘致活動を推進していく。

公明党

**水道料金を減額し
物価高騰による負担軽減を**

Q 世界的な物価高騰の中、電気や都市ガス料金の負担軽減策が1月から国により始まった。水道料金についても何らかの形で減免を行い、市の役割を果たすべきでは。

A 本市ではこれまで、生活扶助受給世帯や市・県民税非課税世帯などへの水道料金の減額を行ってきた。水道料金は、市民への安定した水道水供給や老朽管の更新などのための貴重な財源であるが、昨今の物価高騰に対する緊急支援策として、時限的かつ限定的な減額について、早急に取りまとめていきたい。なお、恒久的な減額については、財政状況を見ながら検討を続けていきたい。

Q 新型コロナウイルス感染症の罹患後やワクチン接種後に様々な症状で苦しんでいる方がいる。市として寄り添った支援が必要と考えるが、どのように対応しているのか。

A 現在、新型コロナウイルスの後遺症に関する問合せに対しては、かかりつけ医など地域の医療機関の受診を案内している。また、ワクチン接種の副反応に関する問合せに対しては、県が設置した相談窓口を案内している。市としては、このような受診の流れを市民に周知し、確実に医療機関や相談窓口につながるものが重要と考えており、今後も県と連携しながら必要な対策をとっていきたい。

生活に直結する光熱水費の高騰は市民や事業者への影響が大きい



から検討を続けていきたい。

**新型コロナウイルスの後遺症
市はどのような対応を**

Q 新型コロナウイルス感染症の罹患後やワクチン接種後に様々な症状で苦しんでいる方がいる。市として寄り添った支援が必要と考えるが、どのように対応しているのか。

A 現在、新型コロナウイルスの後遺症に関する問合せに対しては、かかりつけ医など地域の医療機関の受診を案内している。また、ワクチン接種の副反応に関する問合せに対しては、県が設置した相談窓口を案内している。市としては、このような受診の流れを市民に周知し、確実に医療機関や相談窓口につながるものが重要と考えており、今後も県と連携しながら必要な対策をとっていきたい。

**困りごとにも相談できる
「おむつ定期便」の導入を**

Q おむつやミルクなどの乳児用品を届け、保護

*** 溢水、湛水**

溢水とは川などの水があふれ出ること。湛水とは排水しきれない水が農地や道路、宅地などに溜まること。

*** 核都市広域幹線道路**

千葉、埼玉、東京、神奈川を結び、首都圏の広域的な環状道路を形成する路線。高速道路ネットワークの代替性や多重性を確保し、慢性的な混雑改善などの実現のため計画されている。

者の困りごとを必要な支援につなげる「おむつ定期便」のような伴走型相談支援を本市も導入すべきと考えるが、見解は。

A 2月から開始した本市の伴走型相談支援では、

まず妊娠届出時の面談の場でのアンケート聴取と「マタニティマイプラン」の作成、妊娠6〜8カ月頃および出生後の面談時にプランの見直しなどを実施し、必要な支援を行っている。ご提案の他自治体の取組については、今後、事業の実施状況などの情報を収集し、研究していきたい。新たな制度を着実に進め、安心して出産・子育てができるよう支援に努めていきたい。

**先進自治体の事例に学び
放課後児童クラブの改善を**

Q 放課後児童クラブと子ども教室を市内全校に

一体型で整備した横浜市「放課後キッズクラブ」をモデルに、本市でも放課後児童クラブの待機児童解消を進めるべきでは。

A 本市はこれまで、放課後児童クラブと放課後

チャレンジスクールの形態を変えずに、両事業を一体的または連携して実施してきた。横浜市的事例については、本市の課題に対し効果が期待されるものと認識しており、先進事例の実態調査を早々に進めるとともに、利用者や関係団体などの意見を踏まえ、新たな一体型事業の導入に係る課題の整理や対応策を検討していきたい。

自民党市議団

**新たな屋内型スポーツ施設
整備への具体的計画は**

Q 市は昨年、市内3地区に新たなスポーツ施設

を整備する方針を策定したが、その具体的内容は。武蔵浦和地区では、義務教育学校の新設後に体育館の整備を始めるのか。

A 整備方針では、将来不足が予想される体育館

の競技場床面積を5千㎡程度増床し、市内に3施設を新設することとした。武蔵浦和地区については、現在の沼影小学校の敷

地の一部にスポーツ施設を整備する想定である。令和10年度の義務教育学校開校後に同小学校を解体し、建設工事に着手したい。日進・宮原地区および美園地区については、候補地の選定ができ次第、具体的な計画などに着手していく。

**さいたま新都心周辺地域
本庁舎移転でどう変わる**

Q 本庁舎移転により、さいたま新都心のまちづくりの重要性がさらに高まった。

将来ビジョンの改定に向けた報告に「更なる広範な検討の必要性」とあるが、その趣旨は。

A さいたま新都心将来ビジョンの改定に向け、

新庁舎へのアクセス強化を図るため、駅からの歩行者動線や移動手段など様々な観点から検討していく。新都心の南の玄関口となる与野駅東口では、防災性向上やにぎわい創出に向け、都市機能更新と都市基盤整備の一体的な取組を検討していく。将来ビジョンの改定では、与野駅東口を含む新都心周辺へ視野を



現在の与野駅東口駅前ロータリー
本庁舎移転を見据えたまちづくりが望まれる

広げ、広域的観点から検討を進めていくこととしている。

**小・中一貫教育の推進で
何がどのように変わるのか**

Q 義務教育は、小学校6年間、中学校3年間と

別々の制度として半世紀以上に設計された。本市が小・中一貫教育を推進する理由と、それにより何が変わるのかを伺う。

A 本市では、義務教育9年間を見通した教育課

程の編成と指導体制の構築を一体的に進めるため、平成24年から小・中一貫教育を推進し、小学校教科担任制などの取組を進



安全でおいしい学校給食を維持するためにも
急激な物価高騰への対策は大きな課題

日本共産党

めてきた。小・中一貫教育の推進により、学校種間の接続の段差による児童生徒のストレス軽減が図られるとともに、小・中学校教員の指導力をベストミックスすることで、学びの高度化や教育の質の向上が期待される。

物価高騰から市民を守る 4つの公共料金の無償化を

Q 物価高騰から市民を支えるため、水道料金の

6カ月無償化、給食費の無償化、子どもの医療費の18歳まで無償

化、国保税均等割の18歳まで免除を求めるが、市の見解は。

A 水道料金は、水道水の安定供給などの貴重な

財源であるが、時限的かつ限定的な減額を早急に取りまとめていきたい。給食費については、物価高騰分を各校へ補助しており、無償化は考えていない。子どもの医療費については、将来的な財政負担などの観点から引き続き検討を進めたい。国保税については、画一的な基準による減免は適切でないと国から示されており、市独自の減免は検討していない。

市の地域公共交通計画に *クロスセクター効果の概念を

Q ある分野が赤字でも他の分野の黒字効果が大きい「クロスセクター効果」の考

え方を本市の地域公共交通計画に反映させ、その効果を検証すべきと考えるが、見解は。

A クロスセクター効果については、昨年11月に

設置した「公共交通利用促進及び移動支援庁内検討会議」の中で議

論を開始したところである。会議では、クロスセクター効果の考え方や他自治体の分析事例を共有した。引き続き、本市における適用の可能性などについて研究を継続するとともに、地域公共交通計画への反映についても、その結果を踏まえ議論していきたい。

市民の平和を守るため 本市を「非核宣言都市」に

Q 市長は自身も参加する平和首長会議で採択された*ヒロシマアピールと同じ

認識を持っているか。「非核都市宣言」をし、国に核兵器禁止条約の批准を求めるべきでは。

A 「ヒロシマアピール」や新たな目標「平和文化

の振興」には、市民の平和意識の醸成、特に若い世代に対する教育や啓発活動への支援が盛り込まれており、本市の平和図画・ポスターコンクールや平和展などと目的は一致する。平和都市を宣言する都市として、戦争の悲惨さや平和の尊さを次代に伝えるため、引き続き平和推進事

業を実施していきたい。条約の批准については、国や国際社会の動向を注視していきたい。

さいたま未来

学校施設の空き時間 地域に応じた有効活用を

Q 放課後や週末、夏休みなど使用されない時間が多い学校の教室。学童や自治

会活動などの地域ニーズに対応し有効に活用することが重要と考えるが、市の見解を伺う。

A 学校施設の空き時間の有効活用については、

施設の実情などを踏まえ、個別具体的な地域ニーズに応じた検討が必要と考えている。今後は、避難所はもとより、地域のコミュニティやスポーツの場としての利用も求められると考える。新規施設では学校開放を想定した整備を行っている一方、既存施設ではバリアフリー化や防犯対策などが必要な場合もあるが、市民が様々な形で利用できるよう努力していきたい。

* ヒロシマアピール

昨年10月に広島市で開催された第10回平和首長会議総会で採択された決意表明。核兵器廃絶に向けた取組の拡大や、平和文化の振興への支援などを求める提言が盛り込まれている。

* (地域公共交通における)クロスセクター効果

例えば、行政の補助金で運営されるバス路線が廃止された場合、代わりに医療送迎やスクールバスが必要となるなど、行政の代替費用と財政負担を比較することで把握できる効果。



○ さいたま市議会Twitterを開設しました

さいたま市議会では、情報の速報化および議会公開の一層の促進を図るため、Twitterで議会情報を発信しています。さいたま市議会Twitterをフォロー（閲覧登録）していただくと、市議会がツイート（投稿）した情報が自分のTwitter画面に表示されるようになります。ぜひご覧ください。

- ・Twitterとは、短い文章や画像などを投稿・閲覧できるインターネット上のサービスです。
- ・フォローにはTwitterのユーザー登録が必要です（閲覧するだけであれば登録は不要です）。
- ・発信内容に対する個別の返信は行いません。



- アカウント名: @saitamashigikai (さいたま市議会)
- アカウントURL: <https://twitter.com/saitamashigikai>
- 主な発信内容:
 - ・市議会ホームページにおける主な更新情報（会議日程・インターネット議会中継・会議録更新のお知らせ など）
 - ・市議会広報紙発行のお知らせ
 - ・テレビ広報番組放送のお知らせ



○ スマホアプリ「マチイロ」でもロクマルが読めます

電子書籍版の「ロクマル」を、スマートフォン用アプリ「マチイロ」で閲覧できます。最新号が発行されると、アプリにお知らせも届きます。ホームページから、アプリをダウンロードしてご利用ください。

- 「マチイロ」ホームページ <https://machihiro.town/>



○ 市議会ハラスメント防止研修を実施しました

政治分野における男女共同参画の推進や、ハラスメント発生の防止を目的に、弁護士の太田雅幸氏を講師に招き、議員向けの研修を行いました。講義では、「パワハラ」「セクハラ」をはじめとした様々なハラスメントの具体的な事例などが紹介され、参加した議員はその防止や対処方法などについて理解を深めました。



常任委員会 活動レポート

5つの常任委員会では、議案の審査だけでなく、市民生活に深くかかわる課題について調査研究を行っています。新型コロナウイルスの感染状況にも配慮しつつ様々な活動を行いましたので、令和4年度の取組状況をご紹介します。



文教委員会

地域における部活動推進へ課題の抽出と改善策を研究

公立中学校の休日の部活動を段階的に地域のスポーツ団体や民間企業に委ねる「部活動の地域移行」について、先進自治体に学び、本市の取組を確認しました。指導者の確保や総合調整機能の強化、保護者負担と財政支援の在り方など課題をまとめました。今後の部活動改革、子どものスポーツ・文化活動の充実と環境改善が期待されます。



新潟県で進む部活動の地域移行を調査(11月)

総合政策委員会

ウィズコロナを見据え観光施策とDXの推進を

新型コロナウイルスの終息を待たず、通常の社会生活を取り戻す動きが広がってきており、ウィズコロナ社会への対応は急務です。本市の取組に生かすため、神戸市のウィズコロナにおける観光事業や、急速に進展する自治体DXに関し早くから電子府庁化を進めている京都府の行政デジタル化推進の取組を視察し、調査研究を行いました。



先進する京都府の行政デジタル化事業を視察(8月)

市民生活委員会

市民の生活に直結する「ごみ問題」を調査研究

市民生活委員会では、「ごみ問題」をテーマに、ごみの減量や分別、リサイクルの推進など幅広く調査研究を進めました。松山市への視察では、事業系ごみの削減やごみ減量のイベントなどの開催事例、環境保全に関する展示、環境啓発施設を活用しリサイクル家具などの販売によって実益を伴いながら市民啓発につなげる活動を学びました。



リサイクル松山市の環境啓発施設「Re・再来館」を視察(11月)

保健福祉委員会

市民の多様なニーズに応じた保育・幼児教育の在り方とは

生活環境の多様化に伴い、今後は行政が様々な子育てニーズに対応していくことが一層求められます。委員会では上越市や金沢市を視察し、疾病・リフレッシュなどで保護者が一時的に保育ができない子どもを24時間体制で受け入れる「ファミリーヘルプ保育園」などについて学びました。本市においても子育て環境の充実と向上が望まれます。



上越市では一時預かり専門保育施設について意見交換(11月)

まちづくり委員会

本市に合った持続可能な地域公共交通システムの構築を

高齢化による自動車運転免許の返納者増大など、公共交通へのニーズが高まる中、持続可能な公共交通の先進事例を学びました。高齢者の外出を支援することは、健康と生きがいづくりに寄与するほか、公共交通の利用促進の相乗効果もあります。本市の地域性に合った公共交通システムの構築へ向け、さらなる取組を期待します。



岡山市では路線バスなどの運賃割引事業を調査(10月)

ロクマル キーワード Keyword

2月定例会の中から気になる言葉を取り上げ、解説します。



『都市計画道路』

多彩な役割を持った幹線道路

都市計画道路は、将来あるべき都市の姿や円滑な都市交通、良好な都市環境を形成するために計画された道路です。人や物資の移動を支え活力あるまちづくりの基盤となるだけでなく、災害時には緊急輸送道路として、また快適な通行環境を形成するなど、様々な役割を担っています。都市計画道路の整備には多くの利点がある一方で、用地買収や物件補償などに伴い、完成までに多大な時間と費用を要するといった課題もあります。

時代やニーズに合ったこれからの道路整備

本市では、「さいたま市道路網計画」を策定し、長期未整備の都市計画道路の抜本的な見直しを進めてきました。策定から10年が経過した今、社会経済情勢や交通状況、市民ニーズなどの変化を踏まえ、計画の改定を予定しています。また、令和元年度には道路整備をより効果的に推進するため、優先的に整備を進める路線を選定した「さいたま市道路整備計画(第3期)」を策定し、都市計画道路をはじめとする幹線道路の整備を進めています。

編集後記

議会広報編集委員会

2月定例会では、令和5年度の予算議案が審議されました。今号のトピックスでは、令和4年9月定例会で市議会から提出された提言が新年度の予算編成にどのように生かされ、今後の市政運営に反映されていくかを検証しました。市議会議員は4月30日で任期満了を迎え、5月からは新たな市議会が始まります。今後も、市議会の情報をわかりやすく伝え、より身近に感じていただける「ロクマル」の制作に努めていきますので、引き続きご愛読をよろしくお願いいたします。

【委員長】 議長 中島隆一 【副委員長】 副議長 三神尊志

【委員】 松本 翔 出雲圭子 鳥羽 恵
土井裕之 関ひろみ 都築龍太
島崎 豊 小森谷 優 土橋勇司

さいたま模様



今号の表紙は

- 西区 ●アジサイ ●お囃子 ●大宮花の丘農林公苑

西区の花「アジサイ」はもうじき見頃を迎え、区内各所で色とりどりの美しい花を咲かせます。名所の一つである、指扇氷川神社の「鎮守アジサイ園」では、毎年380種類を超えるアジサイが晩春から秋まで咲き誇り、訪れる多くの市民に親しまれています。

次の定例会は

6月

会期日程は、ホームページをご覧ください。くわしくは議事課までお問い合わせください(Tel.829-1753)。

さいたま市議会 Twitter



本会議・委員会の傍聴



開催日当日、議会棟3階で受付しています。

※手話通訳・要約筆記をご希望の方は、7日前までに議事課にご連絡ください(Fax.829-1984)。

インターネット中継



会議を生中継・録画配信しています。パソコンやスマートフォンなどからご覧ください。

※現在、区役所ロビーでの放映は行っておりません。



テレビ番組「ようこそさいたま市議会へ」



毎定例会後、テレビ埼玉で放送しています。放送日時は秘書総務課までお問い合わせください(Tel.829-1748)。市議会ホームページやYouTubeでいつでも視聴できます。



市議会のくわしい情報は、さいたま市議会ホームページをご覧ください。

さいたま市議会

検索

この議会広報紙は638,100部作成し、1部当たりの作成経費は9円です(企画編集の経費を含みます)。

